

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		神経構造機能学特論Ⅰ・Ⅲ				中村 丈洋	
開講年次	共通／専攻／選択			単位数			
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻， 特論Ⅲ：選択			特論Ⅰ：4（2/年）， 特論Ⅲ：1/年			
目的							
研究論文の読み方を修得すると共に、神経科学の領域で現在行われている最先端の研究について学ぶ。							
授業到達目標							
(1) 研究論文の構成について説明できる。 (2) 神経科学の実験手法やデータの解析法について説明できる。 (3) 論文紹介の中で自身の研究との関連や検討すべき点について説明できる。 (4) プレゼンテーションの技法を修得する。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	水	9:00-10:30	中村 丈洋	講義	[抄読会]	各担当者が神経科学に関する最新のあるいは、エポックメイキングな論文を毎回紹介する。実験の進め方や結果の考察などについて参加者全員で討議する。 [場所:本館棟7階カンファレンス室12]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、訂正箇所などあれば添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9781451109542, Neuroscience : Exploring the Brain (第4版), Mark F. Bear, et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2012							
参考書							
ISBN-9780071390118, PRINCIPLES OF NEURAL SCIENCE (5th Edition), Eric R. Kandel, et al., McGraw-Hill Professional, 2012							
準備学習（予習・復習等）							
(1) 講義ごとに紹介する文献及び論文を、次回講義までに読んでおく。 (2) 事前に教科書や参考書で約1時間程度、該当箇所を予習しておく。 (3) 紹介された論文の要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英語論文を読む習慣をつけていただきたい。							